第33回 社友会総会・懇親会のご報告

２０２6年５月23日（土）昨年に引き続き桜木町駅前の県民共済ビルの「メルヴェーユ」にて開催しました。総会には、新入会員４名を含む会員５７名と会社からは業務多忙のところ、槇社長、三好人事総務部長、松浦人事総務部副部長、山下総務係長の４名のご臨席をいただき総勢６１名で開催しました。

13時開会　司会進行は、行事委員リーダーの中村さんが担当しました。

総会　牧之田社友会会長による挨拶及び2025年度事業報告

みなさん、こんにちは。
久しぶりにお会いする方、１年ぶりお会いする方、最近お会いした方など
さまざまですが、皆さんお元気でしたか。
本日は２０２６年 東亜石油社友会の総会・懇親会にご出席頂きありがとうございます。
また日頃から社友会活動にご理解・ご協力頂き感謝致します。

本日はご多忙の中、東亜石油より槇社長様、三好人事総務部長様はじめ４名の幹部の皆様にご臨席をたまわりました。誠に有難うございます。加えて会社からは、社友会の運営に必要な費用の助成金と、本日の総会・懇親会の祝い金を頂いております。改めてお礼申し上げます。有難うございます。また、製油所は長い定修工事の最中とのことで、大変お疲れ様でございます。

それにしても物価が高くなりました。材料費や人件費等の価格転嫁に加え中東情勢の不安定化による原材料費の高騰が物価高に追い打ちをかけていると言われています。何とか早く落ち着いて貰いたいものです。

さて、会員の皆さま方におかれましては、限られた時間ではありますがご歓談を楽しんで頂ければと思います。そしてこれからも健康に留意され、また来年の総会にも元気なお姿をお見せくださることを楽しみにしおります。

報告内容

① 本日の総会・懇親会出席人数：６１名（会員・新規会員：５７名、来賓：４名）
② 会員の移動（2026.05.23現在）
　会員数：１９１名、新規会員：７名、ご逝去：７名
③ 役員の異動　退任：幹事/齋藤健司さん、就任：幹事/大田 勝さん
④ 2025年度（令和7年度）事業報告
　各活動はほぼ計画通り遂行できた。費用・財産もほぼ予算通りに推移した。
⑤ 2026年度（令和8年度）活動計画
　2025年度の活動を踏襲して新たなチャレンジにも挑戦する。
　2027年の総会・懇親会は5月22日（土）に今回と同じ場所で予定する。
　費用・財産についても2025年度並みで推移する見込みで予算作成した。

来賓挨拶　槇社長

ご来賓の東亜石油槇社長からお祝いの言葉をいただきました。

本日は東亜石油社友会総会の開催、誠におめでとうございます。また本日大勢のＯＢの方々が元気に顔を合わせることが出来たことを大変うれしく思います。少し自己紹介をさせていただきます。私が生まれたのは昭和41年です。会社に入りましたのは出光興産で平成元年（1989年）です。生まれが1966年4月ですので今年がちょうど還暦です。

皆さんもそうだと思いますけど、年を取っているなと自分では意識しなくなったというか、昔ですとすごくおじいさんだなと見ていた年齢のはずなのに、最近の自分はまだまだ若いと思っています。健康寿命も最近はどんどん伸びていますので、私も皆さんに負けないように頑張って行きたいと思います。

先ほど牧之田会長から東亜石油の現況についてお話を頂きましたが、今年は大定修をしております。工事の量は多いですが、働き方改革の影響で協力会社側の制限がありまして、週1日は休みとなったり、1日あたりの工事量も制約されています。そのため、東亜だけでなく国内製油所の昨今の定修期間はほとんどが約３ヶ月です。皆さんが現役の頃だと１ヶ月から１ヶ月半くらいのイメージでした。今はその倍です。

今回の定修は3月下旬にシャットダウンして7月近くまでを予定しています。皆さんが現役で活躍された頃と比べると定修の雰囲気が変わりました。昔のようにガムシャラにという気持ちは弱まっているのかなと感じます。

私も昭和生まれなので昔と比較して思うことがあるのですが、遭遇した難題に対して若い人がもう少しねばったり出来たらいいなと思います。それを一所懸命ベテランが支えてですね、おそらく昔と比べれば厳しさはだいぶ減っているとは思いますが、それでも若い人はやはり厳しいとの受け止めをしています。皆さんが現役で活躍されていた時代と同じだろうとの思いでそのまま現場に入るとビックリするのではないかと思います。そのような状況で一番困っているのが中間管理職（課長）です。課長はもっと良くしたいなという思いが強いですから。

私は昨年の6月25日に着任しました。初めての川崎での勤務です。その前はコロナ真っ最中に3年間昭和四日市石油の所長をしておりました。出光に入社した時には昭和四日市石油、東亜石油で働くことになるとは考えてもいなかったです。

私が入社したのは千葉製油所でして、当時は元売りが１１社くらいあって、製油所も今の倍以上あり、川崎エリアは対岸の製油所だという感じでした。千葉側には出光、コスモ、極東石油、富士石油が、川崎側にはエネオス川崎、根岸、昭和シェル、東亜と結構たくさんあったので意識はしていました。当時は外資のエクソン、モービル、シェルが、日本の石油会社に資本参加していましたが、燃料需要が2000年頃でピークを迎え、その後需要は減少し彼ら外資は撤退してしまいました。

そんなことでいろんな再編が起こって、出光としても国の中でどう頑張って行くのか、国のエネルギーとか、皆さんの暮らしとか、どう責任を果たして行くのか、同じように活躍されている人々と手を組んでやっていくぞという流れが2010年くらいから強くなってきて、我々は昭和シェルさんと経営統合いたしました。うれしいことに、私は昭和四日市石油で勤務出来ましたし、東亜石油でも勤務出来ました。両方経験している人は少ないですが、実は三好（人事総務部長）が私と同じように動いております。

本日はＯＢの方々とお会いできる機会を作って頂きましたこと、誠にありがとうございました。本日のメインは先ほどの会長報告とこのあとの懇親の時間だと思います。会社仲間の元気な姿を確認しながら皆さんが今年も元気にご活躍いただけたらなと思います。

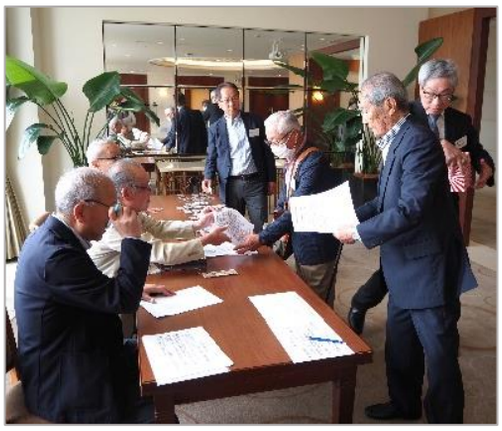
現役の我々としても、皆さんにご心配をかけないように、製造現場ですから事故で怪我をするということが無いように安全にやっていくことが大事であると思っています。

来年も5月22日にここで定時総会が開催されるとのことですので、また皆様方とお会いできたらなと思います。本日は定時総会の開催 誠におめでとうございます。

懇親会　13時30分から15時

懇親会に先立って、昨年の総会以降に逝去された７名の会員（武者義雄さん、岡田智典さん、川島弘さん、甲斐種千代さん、納富敏郎さん、井上重延さん、代田浩司さん）に黙祷を捧げた後、原田修さんの「乾杯」の御発声で懇親会がスタートしました。皆さん、和やかな雰囲気の中で話も弾みました。会の途中で新会員の紹介、長寿会員の紹介と記念品の贈呈を行ないました。

そのあと、今回初めての試みとして「大抽選会」を企画しました。「東亜石油社長賞」、「メルヴェーユ賞」、「社友会会長賞」の特別賞もあり皆さん一喜一憂して大いに盛り上がりました。約１時間半の楽しい時間はあっという間に過ぎ、原田利彦さんによる「閉会」の挨拶をもって今年の懇親会もお開きとなりました。



受付でくじを引いて席が決まります

みなさん開会前 ラウンジにて歓談

司会進行の中村さん

物故者へ黙祷

原田修さんによる「乾杯の御発声」

みんなで乾杯

桑原、新会員の諸田健一さん、齋藤さん

斎藤,古森,佐藤栄,村田,古谷さん

山崎さん,槇社長

柴山,原田利彦,原田修,佐藤隆信さん

根本,若林,中里さん

新入会員の挨拶自己紹介
諸田健一,川嶋勝,小川宗一,佐藤周之さん

米寿の皆さん

喜寿の皆さん

阿部,新会員の川嶋勝さん,三富さん

松本安,山崎,鷲頭さん

諫早,中村睦夫,中村征さん

社友会の会長賞　鷲頭さん当選

東亜石油社長賞　大掛さん当選

今年も遠路岡山から
参加されました　小谷さん

中締めのご挨拶　原田さん

最後に、記念の集合写真を撮り、お開きとなりました。